|  |  |
| --- | --- |
| **特 集** | **兵庫県臨床工学技士会　会員　発表論文****第○○回　近畿臨床工学会　20○○年○月○日（土）・○日（日）　循環　P-12** |

**（一行改行を入れます）**

**表題の日本語はMS Pゴシックで英数はAriaの14ポイントかつ太字**

**（一行改行を入れます）**

人名と所属1），も同じ1），フォントで1），12ポイント1），標準の太さ2）

（一行改行を入れます）

○○○○法人　○○○○病院

○○○○部　○○○○課1），○○○○部　○○○○科2）

（一行改行を入れます）

***ABSTRACT*** （***Aria：10.5pint　太字　斜体）***

要約（要旨）を400文字以内で記載してください．フォントについてですが，日本語はMS P 明朝で英数はTimes New Roman です．9ポイントです．また，句読点は「，」「．」で統一してください．カタカナは全角．（）は全角．英数は半角でお願いいたします．

（一行改行を入れます）

***Key words（Aria：10.5pint　太字　斜体）***

1項目，10文字以内，6項目以内，でお願いします，

（一行改行を入れます）

**Ⅰ.** **はじめに（MSPゴシックAria：10.5pint　太字）**

フォントについてですが，日本語はMS P 明朝で英数はTimes New Roman です．9ポイントです．また，句読点は「，」「．」で統一してください．カタカナは全角．（）は全角．英数は半角でお願いいたします．

（一行改行を入れます）

**Ⅱ.** **対象（MSPゴシックAria：10.5pint　太字）**

フォントについてですが，日本語はMS P 明朝で英数はTimes New Roman です．9ポイントです．また，句読点は「，」「．」で統一してください．カタカナは全角．（）は全角．英数は半角でお願いいたします．

**Ⅲ.** **方法**

表の挿入方法は，表1のとおりである．なお，図や表の書式は，「位置」は「行内」で，「サイズ」は「横幅を80mm以下」とし挿入する．図表は1枚辺り400文字としてカウントする．

（一行改行を入れます）

表1.　 MS P 明朝かTimes New Roman 9ポイント

****

（一行改行を入れます）

次に，図の場合も，作成方法は表と同じである．しかし，図は表と違って下側に説明を入れる（図1）．

（一行改行を入れます）

****

図1.　図は表と違って下側に説明を入れる

（一行改行を入れます）

また，項目の番号の表示方法は表2のようにする．

（一行改行を入れます）

表2.　表なので上側に文字がくる

****

（一行改行を入れます）

**Ⅳ.** **結果**

まず，グラフついては，白黒で印刷されるため，色の濃淡で判別するのではなく，点線や破線で表記することが必要となる．

次に，あれこれがこのようになった．

三回目には，こんなことになっていた．

これら3つの詳細をグラフ化したものを図2に示す．

（一行改行を入れます）



図2.　 治療前血液検査所見（表1と一部重複）

（一行改行を入れます）

**Ⅴ.** **考察**

一般的な考え方は，○×らの方法1）が多く用いられているが，今回我々の行った手順では，そのような結果が得られなかった．

このことから，新たな運用方法を考えた．

これは，△◆がWEB上で公開した方法2）と同様であり，我々もこの方法に近い形で新案を構築した．

ただし，図に書かれた文字などが印刷後に読めるかを確認しておく必要がある（図3）．

（一行改行を入れます）



図3.　新たな案の作成

（一行改行を入れます）

**Ⅵ.** **まとめ**

今回，新たにひな形を公開した．これは初めての試みであり，うまく事が運んでほしい．しかし，世の中そんなにうまくいかないのが普通である．これからもより良い形になるように改良を行っていきたい．

最後に，これで1700文字+図表1600文字=3300文字である．最大でも8000文字（4ページ）以内に収めて頂きたい．

（一行改行を入れます）

**臨床研究の利益相反（COI）開示**

本稿のすべての著者には，開示すべき COI はない．

（一行改行を入れます）

**参考文献**

1. ○×◎○：ホジャラケ酸製剤プレフィルドシリンジの有用性に関する検討．○学と△学62(1)：93-100，2014
2. “驚きの力”．わかりやすい遠心ポンプの部屋，http://www.ponp.sugeeyo.ne.jp/html，（参照2014-02-03）